

# ★ 講座報告 ★

## イケオジ倶楽部 (2026.2.1~3/8)

講師：渡嘉敷しんこ (印象戦略スタイリスト)、座覇太美子 (リンクライフ株式会社)、古塚達朗 (琉球歴史文化コンサルタント)

2/1 から成人講座「イケオジ倶楽部」が50代~60代の男性10人が集まってスタートしました。初回は印象を考えるとというテーマで、ファッションについて学びました。それぞれが考えてきた当日のコーディネートを、講師が少しアドバイスするだけでよりカッコよくなり、会場からも「おー！」っと感動の声が出ていました。2回目はアンガーマネジメントをベースにして今後の人生を考えてみました。3回目には首里城と玉陵を歴史散策。普段何気なく歩いていた道も、説明があると意識が変わります。今度は家族と来たいなという感想も出ました。

最終回は豚汁を調理。この日はマイバッグを手にそれぞれが買い物に出かけていきました。公設市場の調理室で3グループに分かれて調理実習。「豚汁」と



言っても全く違う豚汁が仕上がっていました。そしてどれも美味しかったです！事後アンケートでは「新たな友人ができた」「とても楽しかった」「交流が楽しすぎる」と全5回をエンジョイできた感想が並んでいました。今後もイケオジの輪を広げながら続けて交流ができると嬉しいです。(川間)



# 龍 樋

りゅうひ

《発行》

那覇市首里公民館

〒903-0812

那覇市首里当蔵町2-8-2

TEL 098-917-3445

12月26日(金)に、地域連携事業「首里高生と楽しく学ぶ 茶道のいろは」を開催しました。

10月の秋休みに開催した少年教室「茶の湯(茶道)を体験しよう!」を受講してくれた児童を中心に20人が集まりました。講師は、茶道裏千家淡交会教授で、首里高等学校茶道部講師の伊川宗津先生と茶道部の生徒11名です。

まず、20人の受講生を2グループに分けて、一方は和室にて座礼の



お点前を、もう一方は廊下に特設した立礼式を体験しました。それぞれの体験が終わったら交代



し、座礼、立礼どちらも体験するという流れでした。茶道に触れる経験があまり無いからか、保護者の見学もとても多かったです。休憩時には、受講生である児童に交じって、保護者からも質問が挙がる等、活気ある講座となりました。児童からのアンケートには、「お茶を点てる事や、飲む作法など、全部楽しかったです。お茶や菓子も美味しかったです。」とあり、高校生からも

「茶道について興味を持っている人が多くて沢山質問などもしてくれて嬉しかったです。道具などの話もしっかり聞き、積極的に話をしてくれてとてもやりがいがありました。今後もぜひ交流したいと思いました。」との声があり、教える側、学ぶ側にとっても大変有意義な時間でした。日頃学んだ(インプット)事を活かすためには、他者に教える(アウトプット)事が有効な方法の1つであると実感した講座でした。(我那覇)



## Bistrot 首里 (2025.12.20~2/14)

講師：高野 大 (沖縄県立芸術大学)、伊集 守道 (那覇市歴史博物館)、新垣 伝 (新垣養蜂園)



今年度の Bistrot 首里は 20 代~30 代の青年が首里の町を毎回散策し、地域の名店でランチをしながら交流という内容です。初回はそれぞれのスマートフォンで構図のポイントや色・光の取り入れ方を聞いてから撮影会に挑みました。その後、ランチをしながら作品についてアドバイスをもらいました。あいにくの雨でしたが、皆さんは雨をうまく利用して素敵な作品を撮っていました。2回目は歴史散策でしたが、「時間が短い!」「もっと講師の話を知りたい」など、首里の歴史に興味を湧いてきた様子が伺えました。最終回は「蜂

の視点」で首里を散策しました。これまでの回で歩いた場所も蜂を意識してみると新鮮な散策となりました。この日は、講師の新垣さんからクイズが出され、チーム戦で競いながらの散策となり、非常に盛り上がっていました。ゴールは新垣養蜂園でしたが、養蜂の様子も見せてもらい、蜂蜜の試食会もありました。受講生たちは食い入るように見て、聞いて、質問を投げかけていました。Bistrot 首里をきっかけに友達になったと報告もあり、大変うれしく思います。(川間)



### ★ スマートフォンを乐しもう (80 歳以上限定) 1月21日・22日、スマートフォン講座 (初心者向け) 26日・28・29日。スマートフォンを持ってはいるけれど使い



方がよくわからないという方向けに、基本操作を中心に学習しました。講師はシルバー人材センターからお招きしました。操作方法を一つ一つわかりやすく、丁寧に教えていただきました。写真の撮影、写真を送りあう体験では「便利だね」という声も聞かれ、皆さん興味津々の様子でした。受講生からは「難しさだけでなく、便利さもわかった」「今回のような講座に再び参加したい」という声が聞かれました。(岸本)



お世話になりました

あっという間の日々でした。令和3年4月に首里公民館に社会教育指導員として配属されて、5年が経ちました。今年度は利用団体の皆様とほとんど接することなく、異動となり、大変寂しく思います。毎年の講座や夕涼みまつり、公民館まつり等々、どれも楽しい思い出ばかりでした。お世話になりました。(我那覇)



玉寄と申します。首里公民館では主に庶務を担当していました。次年度からは首里公民館を卒業となります。庶務という仕事柄あまり皆様と関わることはできませんでしたが、講座を通して首里の魅力を感じていただけたいと思います。短い間誠にありがとうございました。(玉寄)



### 「編集後記」

あっという間に3月になりました。ぽかぽかした陽気に心も弾む春ですね。講座の担当及び補助として関わる中で、同じ空間で顔を合わせ、同じ時間を過ごしながらかつて学び合える、講座の魅力を感じました。今月で卒業となります。短い間でしたが、ありがとうございました。(岸本)

